

松野市長初の議会、「市議会第3回定例会」が9月27日 に開かれ、市長就任の所信表明を行いました。

この中で、松野市長は岩見沢市の再生とより良い未来のため、市民本位の市政の実現と、積極的な市民参加を図り、市民の皆さんが自信と誇りを持てる岩見沢のまちを、次の世代へ引き継ぐことが責任であるとの決意と、市政を運営するに当たつての基本的な姿勢を表明しました。

## 所信表明

私は、このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまからの厳粛な付託を受け、岩見沢市長として、市政に当たらせていただくことになりました。

本日ここに、平成24年第3回市議会定例会が開会されるにあたり、議員の皆さま、市民の皆さまに、所信の一端を申し述べる機会をいただきましたことは、この上ない光栄であり、市政を担う責務の重大さに、改めて身が引き締まる思いでございます。

昨今、「ごみや学校給食の問題、あるいは災害対策など、岩見沢のまちは大きくクローズアップされました。

り、市におきましても、これらに伴う財政環境への影響などを危惧しているところでございます。

そのような状況を踏まえ、私は、今回の市長選挙を通じて、市政への信頼を積み重ねながら、市民の皆さまにいつまでも住み続けたいと思っただけの岩見沢とするため、市民一人ひとりが誇りを持てる産業を育て、高齢者をはじめ市民の皆さまが安全・安心を実感でき、未来を担う子どもたちや若者・女性が希望を持ち、輝く、10年先20年先を見据えた岩見沢のまちづくりを、お約束したところであります。

その一端を申し上げますと、平成18年3月に3市町村が合併をして、新しい岩見沢市となりましたが、既に6年を経過いたしました。合併後の検証作業を実施した中で、それぞれの地域の特性や環境をいかしたバランスある発展・振興に取り組んでまいります。

岩見沢の顔である駅舎を含めた中心市街地につきましては、誰のための中心市街地活性化なのかという原点を踏まえ、改めて消費者や商業者と協議させていただきたいと思っております。であえーる岩見沢などの公共施設の整備だけではまだまだ不十分であり、空き店舗対策や起業などへ繋がる支援の充実が必要であると考

これらに対する市の対応を含め、市民の皆さまの市政に対する不満や不信感は大きく根深いものがあると感じております。

私は選挙を通じて、失われた市民の信頼を取り戻すため、市役所を市民のために汗を流す所に変えなければならぬと訴えてまいりました。

その結果、多くの皆さまのご支持をいただき、期待の大きさを実感しているところであり、31年間の市職員としての経験も活かし、全力を挙げて市政に取り組み決意を新たにしているところでございます。

私が、市政を執行するに当たつて真つ先に取り組むべきものは、市役所の改革であります。

市民のために仕事をするということを、職員一人ひとりが常に意識しながら、課題解決に向けて取り組むことであります。

そのためには、縦割り組織の弊害を取り除き、行政課題を市の全体の問題として捉え、広い視野と横断的思考を持った組織へ転換してまいりたいと考えております。

市役所は市民の役に立つ所であり、職員の意識改革とあわせて、情

報収集、政策形成能力の強化、そういったものを自身の経験をいかし、地方自治の原理原則を基に、職員と一緒に進んで、汗を流しながら進めてまいります。

そのような改革により、しっかりと土台が出来上がれば、どんな困難な課題への対応も、市民の皆さまとともに取り組むことができ、岩見沢の未来を築く政策が実現可能となり、岩見沢のまちは、未来に向かって着実に進んでいける、そう思うのであります。これは、私の根底にある最も基本的な認識でございます。

また、市民の皆さまとの対話、市民参加による市政、言葉では簡単ですが、どう具体化するのか、これが重要なことと考えております。

市民本位の市政の実現を徹底するため、市民の皆さまの声を、しっかりと受け止め、庁内横断的にスピード感を持って市政に反映させる、市政の展開に活かす、そのような組織を構築してまいります。

市役所の仕事の基本は、市民の皆さまの安全と安心の確保でございます。今年の大雪では、皆さまに大変な

# 岩見沢市の再生と

# より良い未来のため

えております。

さらに、岩見沢には高度情報通信の基盤が整備されており、情報通信技術を活用した関連業種の企業誘致に取り組み、雇用の拡大に繋げて、経済の活性化を図つてまいります。

一方、岩見沢の基幹産業は農業であります。農業の発展なくして岩見沢の発展はございません。これまで生産が主体の農業でありましたが、生産と食品加工、流通販売の一体化による農業の6次産業化を、さらに進めたいと考えております。

そのためには、農業生産法人設立や農業生産施設等の拡大支援などの具体的な検討を進めるとともに、フード特区北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(も視野に入れた農業の振興を図つてまいります。

また、子どもは社会の希望・未来をつくる力です。

次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現のため、安心できる子育て環境、質の高い教育環境の充実に取り組んでまいります。

特に、子育てにつきましては、助成制度などの経済的支援、相談事業

などの精神的支援、保育所など子育て環境の充実を通じた仕事との両立支援、これらのバランスを取りながら充実させる取り組みを推進してまいります。

さらに、健康・福祉・医療は暮らしの基本であり、市民の皆さまの生活に欠かせないものであります。障がいのある方、高齢の方など、市民すべての健康・福祉・医療などを充実させる文化・スポーツの振興、長寿社会を迎えて高齢者の生きがいづくりなどの充実を図つてまいります。

以上、申し上げますように、まちづくりの課題は山積しておりますが、私は、これらの課題解決に向けて、職員とともに一丸となって取り組んでまいります。その具体的な施策につきましては、今後、予算編成なども予定されておりますので、その機会にあわせてご審議をお願いすることにいたします。

私は、市民から託された強い思いに応えるため、市民の中に積極的に出向き、多くの方々と対話し、ともに知恵を絞り、市民生活の質を高める市政の展開、市民の皆さまの行政

ご不便、ご迷惑をお掛けいたしました。そうした中でも、公共交通機関は少なくとも止めない、そんな危機意識を職員が共有して除排雪の強化に努めるとともに、各種情報を一元管理し、迅速に情報や安全・安心を提供することのできる体制を、速やかに再構築したいと考えております。

また、ごみ処理の問題であります。私の基本的な考え方は、自然にやさしいごみ処理であります。新処分場の平成27年度からの供用開始を踏まえた中で、生ごみの堆肥化やごみの有料化などについて、市民の皆さまが納得した上で、これからの岩見沢市のごみ処理を進めることが、何より肝心なことと思っております。

学校給食での食中毒の問題につきましても、全国的に大きな話題となりましたが、私の目指す学校給食の基本理念は、日本一安全で子どもたちに喜ばれる給食であります。

何よりも安全であることを常に徹底するとともに、将来を見据えた学校給食調理所の施設整備のあり方について、改めて皆さまと議論をさせていただき、方針を決定したいと考えております。

社会情勢に目を向けますと、加速する人口の減少や少子高齢化、景気の低迷や社会保障費の増大などにより、市におきましても、これらに伴う財政環境への影響などを危惧しているところでございます。

また、市長就任直後の、9月11日夜から12日未明にかけて記録的な大雨により、岩見沢市内において、家屋の床上・床下浸水や農作物などの被害が発生いたしました。

この場をお借りして被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。市では、災害対策本部を設置して対応してまいりましたが、地域住民や避難所への情報提供など、まだまだ災害対策に改善の余地があるものと、私自身改めて認識したところであります。この災害を踏まえ、市民の皆さまの安全・安心の確保に全力を挙げて取り組んでまいります。

私の責任は、岩見沢市の再生とより良い未来のために働き、市民本位の市政の実現と、積極的な市民参加の徹底を図り、市民の皆さまが自信と誇りを持てる岩見沢のまちなを、次の世代へ引き継ぐことであると思っております。

議員の皆さま、市民の皆さまにおかれましては、私の意図する所をお汲み取りいただき、今後の市政運営に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。